

倫 理

(解答番号 ~)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 25)

「あの人は傲慢だ」とは非難の言葉であり、傲慢な人が嫌われるのは世の常である。古今東西を問わず、傲慢は様々な思索の中で戒められている。では、人はどのような場合に傲慢になり、どのようにしてそれを避けることができるのだろうか。

例えば、知者として世評の高い人が傲慢に陥ることもある。ソクラテスは、当時名高い政治家や詩人たちが、人間は神とは異なり根本的に無知であるにもかかわらず、傲慢にも善や美などを知っていると思いついでいることを明らかにした。そして彼は、デルフォイの神殿の「汝自身を知れ」という警句を無知の自覚を促す言葉と解して、㉔問答により真理を探究した。彼の弟子㉕プラトンは、魂が有害な欲望に占領されると、慎みという徳が追放され傲慢が入り込むという。その後㉖ストア派は賢者の理想を追求したが、知恵を極めれば傲慢にならないとした。

一方㉗孔子は、小人は富を得ると傲慢になるが、君子はどんな場合でも悠然としているという。富の有無よりも富へのこだわりが傲慢に通じるのである。また㉘クルアーン(コーラン)によると、富へのこだわりは人を傲慢にし信仰への道を誤らせる。仏教でいう「慢」は、物事へのとらわれに基づく煩惱の一つであり、己を他者よりも優れていると妄想して他人に対して誇りたがる心の驕りである。その根本には、諸存在の無常性に気づかない「」があるとされる。

さらに傲慢は、他者を不当に蔑むことにも繋がる。旧約聖書によれば、豊かさを享受した人が、それが神の恵みであることを忘れて傲慢になると、弱い者に不正を行い労苦を課して虐げる結果をもたらすという。さらに新約聖書を見ると、イエスは、パリサイ派やが律法を遵守していると驕りたかぶり、病者や貧者を罪人と見下していたことを戒めている。自らの義を誇ることは、律法の根本にある愛の教えに反してしまうからである。㉙パウロも同様に傲慢を戒め、互いに愛し合い仕え合うことの重要性を説いた。

このように、自分が知者であると自負したり、富などに心を奪われ優越感に浸ったりするとき、人は傲慢に陥り他者を不当に蔑むことになる。そこには、自己の根本的な無知や無力に気づかない姿がある。それゆえ傲慢にならないためには、自分を真摯^{しんし}に見つめ、他者との関係を問い直すことが重要である。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- { ① 無 記
③ 無 明

- ② 無 心
④ 無 我

- { ① サドカイ派
③ スンナ派

- ② エレア派
④ アタナシウス派

倫理

問 2 下線部④に関して、ソクラテスは自分の問答を産婆術(助産術)と呼んだ。それを説明する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 産婆は妊婦の出産までの過程を熟知しており、妊婦に適切な出産法を教えることができる。対話相手は無知であるが、問答によってソクラテスから真理を教授されることにより、真偽を判断することができる。
- ② 産婆は高齢のため出産はできないが、妊婦の状態を見極めて、その赤子を取り上げることができる。ソクラテスは無知であるが、問答によって真偽を吟味しながら、対話相手自らの考えを引き出すことができる。
- ③ 産婆は高齢のため身ごもることはできず、出産を助けることだけができる。ソクラテスは無知であるが、問答によって対話相手の考えを引き出す手助けを学ぶことを通じて、無知から解放されるようになる。
- ④ 産婆の助けがないと妊婦の出産は困難であり、出産は両者の協同により成功する。ソクラテスも対話相手も無知であるが、問答によってお互いの不足を補いながら探究することにより、真理に到達できる。

問 3 下線部㉑のプラトンは、魂の三部分の関係に基づいて国家のあり方を説明した。彼の国家についての思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 一人の王の統治は、知恵を愛する王による統治であっても、つねに独裁制に陥る危険を孕んでいる。それゆえ防衛者階級も生産者階級も知恵・勇気・節制を身につけ、民主的に政治を行う共和制において正義が実現する。
- ② 統治者階級は、知恵を身につけ、防衛者階級を支配し、防衛者階級は、勇気を身につけ、生産者階級を支配する。さらに生産者階級が防衛者階級に従い節制を身につけたとき、国家の三部分に調和が生まれ、正義が実現する。
- ③ 知恵を愛する者が王になることも、王が知恵を愛するようになることも、いずれも現実的には難しい。知恵を愛する者が、勇気を身につけた防衛者階級と節制を身につけた生産者階級とを統治するとき、正義が実現する。
- ④ 知恵を身につけた統治者階級が、防衛者階級に対しては臆病と無謀を避け勇気を身につけるよう習慣づけ、生産者階級に対しては放縦と鈍感を避け節制を身につけるよう習慣づける。このようなときに正義が実現する。

問 4 下線部㉒のストア派の生活信条として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 各人は情念に動かされることなく、すなわち、自然に従って理性的に生きるべきである。
- ② 各人は富や権力や健康など、外面的なものを頼りにせずに、できるだけ何も持たないで生きるべきである。
- ③ 各人は精神的な快楽を保つために、政治や公共生活への参加を避け、隠れて生きるべきである。
- ④ 各人はポリス的動物であり、ともに善い人間になることを目指す友愛を重んじて生きるべきである。

倫理

問 5 下線部㉑の孔子が説いた仁の実践として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間の道徳性を現実化しようとする、根源的な気力を養い育てていく。
- ② 柔和でへりくだった態度をとり、周囲の人と極力争わないように努める。
- ③ 名称とそれが示す具体的な事柄とを一致させて、社会秩序を強固にする。
- ④ 自分勝手な欲望に打ち勝ち、古の理想的な行動基準いにしえに自分を従わせる。

問 6 下線部㉒に関連して、イスラームにおける宗教的義務である五行の一つ、断食の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 健康な成年男女が毎週金曜日に、水を除く一切の飲食を絶つこと。
- ② 健康な成年男女がイスラーム暦第9月の間、日中一切の飲食を絶つこと。
- ③ 健康な成年男女が常時、羊の肉など一切のぜいたく品の飲食を絶つこと。
- ④ 健康な成年男女が夏至から40日間、パンを除く一切の食事を絶つこと。

問 7 下線部㉓のパウロについて、その基本思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間は律法の行いによってではなく、イエス＝キリストを政治的指導者として崇あがめることによって、罪から救済される。
- ② 人間は律法の行いによってではなく、イエス＝キリストを偉大な預言者として敬うことによって、罪から救済される。
- ③ 人間は律法の行いによってではなく、イエス＝キリストによる教説を知ることによって、罪から救済される。
- ④ 人間は律法の行いによってではなく、イエス＝キリストによる贖罪を信じることによって、罪から救済される。

問 8 本文の内容に合致する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 自分が罪を犯さないと自負する態度も既に傲慢である。それを避けるために、人間は根本的に弱い存在であることを悟り、他人を裁かず、互いに手を差し伸べ合うことの大切さを自覚すべきだという教えがある。
- ② 傲慢な人が他者を蔑み虐げるのは、自分が他人よりも豊かであるがゆえに優れているという妄想に起因する。それを避けるために、例えば、人間が根本的に無力で、豊かさは与えられたものと悟るべきである。
- ③ 知者として世評の高い人が傲慢になるのは、他人よりも知識があっても、根本的には無知であることに気づかないからである。それを避けるために、例えば、より知識ある人に教えを乞い知識の量を増やすべきである。
- ④ 富を得た人が傲慢になるのは、富の有無よりも富への執着心に起因する。それを避けるために、諸存在の無常性を悟り、富における優越も一時のことであり、去りゆくことをわきまえるべきだという教えがある。

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 25)

私たちは社会の中で一人の自由な人間として生きている。人間がそうした自由を手に入れるようになったのは西洋近代においてだった。それまで人間の生活を支配してきた身分制的秩序がゆらぎ、そうした秩序に縛られない自由な人間が登場してきたのである。

マキャヴェリの『10』を見てみよう。マキャヴェリはそこで、Aと権力者に忠告しているが、その背景にそうした自由な人間の登場が予感される。彼は、いったん自由に目覚めた人間は、いかなる支配も拒否し、権力者にどこまでも抵抗するものであると指摘している。

それでは、もともと人間が自由な存在であるとした場合、その人間たちは、自分たちが生きるための社会秩序をどのようにして作り出すのだろうか。この問題に一つの答えを出したのがホッブズの④社会契約説だった。ホッブズがその主著『11』の中で人間の自然状態として語った「万人の万人に対する闘争」は、無制限の権利と自由を手にする人間が繰り広げざるをえない光景だった。人間はそこに死の恐怖を感じないわけにはいかない。そこで、闘争状態を回避するためにBを結ぶことによって社会状態へ移行する、とホッブズは考えた。

しかしホッブズの言うような自由は、カントによれば単なる^{ほうし}放恣でしかないということになる。そうした放恣を制御しながら、自らの決めた規則に従うことにこそ自由がある、とカントは考えた。そのための原則が、実践理性の命令である⑤「汝の意志の格率がつねに同時に普遍的な法則として妥当しうるように行為せよ」だった。⑥快苦の計算に基づく「最大多数の最大幸福」の実現を目指すベンサム功利主義も、社会における幸福を最大化するという観点から、自由のどのような制限が可能かを追究するものだった。

さらに⑦マルクスによれば、そもそも資本主義的社会体制のもとでの自由、とりわけ資本家の自由な経済活動は、社会をやがて破局に導かざるをえない。マルクスの共産主義は、破局の後に実現されるはずの秩序、すなわち、共同の生産手段をもって労働する自由な人間の結合を構想したものだ。

このように自由をめぐる過去の思想家たちの思索を振り返るとき、私たちは次の

ような問題に直面せざるをえない。それは、自由な人間はどのような秩序を求めるのか、そして、その秩序のもとで人間の自由はどのようなあり方をするのか、という問題である。この問題をめぐる議論は、自由が人間にとってかけがえのないものである限り、これからも繰り広げられていくことだろう。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|---------------------------------|---|-----------|---------|
| <input type="text" value="10"/> | { | ① 国家 | ② 政治学 |
| | | ③ 君主論 | ④ ユートピア |
| <input type="text" value="11"/> | { | ① リヴァイアサン | ② 社会契約論 |
| | | ③ 統治論 | ④ 法の精神 |

問 2 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。 については に、 については に答えよ。

- ① 権力者に可能なのはつねに民衆の要求に従った政治のみである
- ② 権力者は深い信仰をもち、宗教的権威により支配を正当化すべきである
- ③ 権力者はいかなるときにも厳格に道徳的にふるまわなければならない
- ④ 権力者は権力の維持・強化のためにはいかなる手段も用いるべきである

- ① 互いに相手の自然権を重視した行動をするという契約
- ② 自分たちの自然権を放棄し統治者に譲渡するという契約
- ③ 争いの主な原因となる所有権を制限するという契約
- ④ 自分たちのうちの誰か^{だれ}を衝突の際の調停者に指名するという契約

倫理

問 3 下線部㉔に関連して、ホッブズを批判しながら独自の社会契約説を構築した思想家にルソーがいる。ルソーによるホッブズ批判として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 自然状態から社会状態への移行は、ある契約が実際に結ばれることによってではなく、社会状態がもたらすはずの利益を感じ取ったものたちが互いにかわした黙約によってなされた。
- ② ホッブズが「万人の万人に対する闘争」として描いているような自然状態は、本当の自然状態ではない。それは文明によって墮落し、富をめぐる争いを始めた人間の姿である。
- ③ 国家が人々の結んだ契約によって作り出されたものであるとしても、その国家が権力を濫用し、人々の生命や所有を脅かすならば、人々にはそれに抵抗する権利がある。
- ④ ホッブズの言う自然状態は、人間とその自由の破壊的な側面だけを抽象したフィクションでしかない。人間もその自由もつねに国家において具体的なあり方をしている。

問 4 下線部㉕のカントの言葉にかなった判断の下し方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 誰もがいつでもどこでも、守るつもりのない約束をしたら、約束そのものが成り立たなくなる。そんな約束はしないようにしよう。
- ② 睡眠をとらずにこれ以上仕事を続けると、倒れてしまいそうだ。生物学の普遍的な法則には従わなければならないから、睡眠をとることにしよう。
- ③ まわりにいる人たちから^{ひんしゆく}鬻ぎを買うような行為は、私個人としては問題がないと思われるものであっても、行わないことにしよう。
- ④ いかなる場合でも法律には従わなければならないから、罰をまぬがれることができるからといって法律を破るのはやめることにしよう。

問 5 下線部㉔に関して、ベンサムに従うと、人はどのように快樂や苦痛を計算すべきであるか。その具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① お喋りしながら缶入りのお茶を飲むよりも、お茶会の方が精神的な深さがある。こちらの方が高尚な快樂である。
- ② 彼女は立派な人格の持ち主で、誰からも尊敬されているから、彼女の得る快樂には二人分の快樂の価値を認めよう。
- ③ たちまち飽きがきてしまうような玩具がんくよりも、長く遊べるような玩具の方が、大きな快樂を与えてくれる。
- ④ とてもおいしいご馳走ちそうだった。そのせいでおなかをこわしたとしても、ご馳走が与えた快樂が差し引かれるわけではない。

問 6 下線部㉕のマルクスの思想をあらわす記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 資本主義的生産様式が支配している社会の富は、膨大な商品の集積としてあらわれ、個々の商品はその富の基本形態としてあらわれる。
- ② 人間の意識が人間の存在を規定するのではなくて、その反対に、人間の社会的存在が人間の意識を規定するのである。
- ③ 世界史とは自由の意識の歩みである。東洋では一人が、ギリシアでは若干の者が自由だったが、ゲルマンではすべての者が自由である。
- ④ プロレタリアには、革命において鉄鎖のほか失うものは何もない。彼らには獲得すべき全世界がある。全世界のプロレタリア、団結せよ！

倫理

問 7 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 自由には時には何らかの破壊が伴わざるをえないのではないかという予感
は、自由を行使することへのためらいを引きおこし、自由のもつ価値を損な
うことになるだろう。そのとき人間には自由に代わる新たな価値が必要とな
るかもしれない。
- ② 欲望や衝動のままにふるまう自由をどこまでも追求することは、人間が一
つの社会のもとで生きることを不可能にしてしまう。社会なしで生きること
が人間にできない限り、自由の追求も社会においてなされざるをえないだろ
う。
- ③ 人間は自由であればあるほど、自分がどうふるまうかを自分一人で決めな
ければならず、しかもその責任のすべてを負わされることになる。自由であ
ることは人間に重くのしかかり、時には激しい葛藤^{かつとう}を引きおこさないではお
かないだろう。
- ④ 自由の実現はつねにその代償を必要としてきた。例えばそれは、伝統的な
価値やそれに基づく社会秩序を解体してきた。私たちが新たな自由を手に入
れようとするとき、つねに、その代償として失われるものに配慮する必要が
あるだろう。

倫理

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 25)

「恋愛は人世の秘鑰*なり」。明治時代の詩人、北村透谷の言葉である。憧れ、喜び、悲しみ、痛み、あるいは献身や嫉妬など、恋愛は様々な陰影を人の生に与える。そうした男女の関わりについて、人々はどのように考えてきただろうか。

『古事記』によれば、伊邪那岐命・伊邪那美命という男女二神が、Aとされる。ここには、男女の関わりが、この世界において根源的な力をもつものであるという考えを見ることができる。だが一方、古来、情欲に基づく男女の関わりは邪なものとされ、戒めの対象とされることもあった。例えば①仏教は、恋の執着を、悟りを妨げる煩惱であると捉えたのである。

こうした男女の関わりは、生き生きとした人の感情を重視する近世に入ると、より一層注目されていくことになる。②儒学に対抗して、神話や歌・物語の中に人や世界のあり方を探ろうとした国学は、そこに描かれた男女の恋に重要な意義を見いだしていった。本居宣長は『19』において、恋に揺れ動く人の姿のうちに、「もののあはれを知る」という人の真実のありようを認めたのである。また文芸においても、井原西鶴や近松門左衛門は、市井の人々の激しい恋の情熱を描いた。しかし近松の心中劇に見られるように、そこでも男女の関わりは、周囲の人々との間に抜き差しならない葛藤を生み、時として人を破滅や死へと向かわせるものでもあることが意識されていた。

さらに近代に入ると、男女の関わりは、新たに自我の独立や自由との関係から捉えられていく。北村透谷は、内面の「20」に直観される「内部生命」の発露としての恋愛を、現実の世界に対抗する拠点とした。こうした考え方は、官能を大胆に肯定し情熱的な短歌を残した与謝野晶子らの③ロマン主義運動へと展開していく。だが、恋愛において目覚めた自我は、他者や社会との間で再び深刻な苦しみを経験しなければならなかった。個人主義を唱えた夏目漱石は、『心』において、恋愛の勝者のうちにひそむエゴイズムの苦悩を描き、また、恋人との悲劇的な別離に終わる小説『舞姫』の作者森鷗外は、自己と社会との葛藤を④「諦念」のうちに受けとめなければならなかったのである。

男女の関わりは、生に大きな喜びを与えると同時に、時として深い苦悩をもたら

さずにはおかない。人はそこで、最も親密でありたいと願う他者と出逢い^{であ}、さらにはその関わりを通じて、様々な形で二人を囲む人々や社会とも向き合うことが求められる。私たちがまた、㊦人とともに生きる自らの生の姿を、身近な男女の関わりの中に深く見つめていく必要があるといえるだろう。

*秘鑰：秘密を解く鍵^{かぎ}、の意

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

<input type="text" value="19"/>	{	① 万葉代匠記	② 歌意考
		③ 源氏物語玉の小櫛	④ 古道大意

① 想世界 ② 実世界 ③ 幽冥界 ④ 清浄界

問 2 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① その結びつきにより、国土と諸神を生み出した
- ② その意志によって、この宇宙と万物を創造した
- ③ その超越的な力によって、万物に生成を命じた
- ④ その靈的作用により、原初の人間を誕生させた

倫理

問 3 下線部㉔の背景にある仏教の考え方の記述として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① この世のすべてのものは一定の原因や条件に依存して生起するが、その不変の本質はそれらの原因や条件を超越している。絶えず変化する現象にばかり心を奪われ執着するところに、迷妄が生まれる。
- ② この世のすべてのものは一定の原因や条件に依存して生起するから、独立不変のものは存在しない。にもかかわらず、自己や自己の所有物を変わらない実体と考え執着するところに、迷妄が生まれる。
- ③ この世のすべてのものは様々な原因や条件に依存して生起するが、それらは根源的な涅槃^{ねはん}の世界の影に過ぎない。その真実を理解せず、自己や自己の所有物を実在と誤認するところに、迷妄が生じる。
- ④ この世のすべてのものは様々な原因や条件に依存して生起するから、元来知によっては捉えることができない。変化する存在に身を委ね^{ゆだ}ようとせず、知を求め続けようとするところに、迷妄が生じる。

問 4 下線部㉕に関連して、儒学の説く「五倫」の内容として最も適当なものを、次の

①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- ① 父子の孝、君臣の義、夫婦の別、長幼の悌、朋友の信
- ② 父子の孝、君臣の忠、夫婦の礼、長幼の悌、朋友の敬
- ③ 父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信
- ④ 父子の親、君臣の忠、夫婦の愛、長幼の序、朋友の敬
- ⑤ 父子の仁、君臣の義、夫婦の礼、長幼の智、朋友の信
- ⑥ 父子の仁、君臣の忠、夫婦の愛、長幼の智、朋友の敬

問 5 下線部㉓を説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 旧来の思想や道徳に追従することなく、各々が人間的な感情や善意を生かすことを通じて、理想的人格を完成させるべきだと主張した。
- ② 伝統的な権威や因習を否定し、個人が理性的な自主独立の主体となることで、新たな生活や社会制度のあり方を築くべきだと主張した。
- ③ 伝統的な道徳や思想に囚われず^{とら}に、現実をありのままに直視することで、自己の内面の自然なあり方を素直に表出すべきだと主張した。
- ④ 旧来の制度や価値観の束縛から脱し、内面の自然な感情や情熱を肯定することを通じて、自我や個性を尊重し解放すべきだと主張した。

問 6 下線部㉔に関して、森鷗外が自らの立場とした「諦念」について説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 自我と社会の矛盾に遭遇したとき、あくまで自己を貫くのではなく、自らの社会的な立場を冷静に引き受けながらも、なおそこに自己を埋没させまいとする立場。
- ② 自我と社会の矛盾に遭遇したとき、小さな自我に対するこだわりを捨て、自我を超えたより大きなものへと自らを委ねることで、心の安らぎを得ようとする立場。
- ③ 自我と社会の矛盾に遭遇したとき、あくまで自己を貫くのではなく、欲求の実現を断念し現実から逃れることで、社会から独立した自己を実現しようとする立場。
- ④ 自我と社会の矛盾に遭遇したとき、小さな自我に対するこだわりを捨て、社会的要請に応えることに自らの理想を見いだして、人格の完成を目指そうとする立場。

倫理

問 7 下線部㉔に関連して、人間を「間柄的存在」と捉えた思想家に和辻哲郎がいる。彼の考えを説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 対^{つひ}なる男女は、それぞれ独立した個人が間柄によって定められた役割を担う共同存在である。その共同体は、嫉妬や裏切りという不合理な感情や行動を否定し、各々がその役割を果たすことで完成される機能的組織である。
- ② 対なる男女は、自他一体的な一つの共同存在である。その共同体は、不信や裏切りという個の背反の可能性を一切もたない純粋な自他和合であり、互いの深い愛情を確信した、私心をもたない男女の間柄的な関係に基づく。
- ③ 対なる男女は、一つの共同体を形成しながら、またそれぞれが独立した個人でもある。その共同体は、それぞれの個が、互いに嫉妬や裏切りを容認しないという双務的契約を結ぶことによって築かれる信頼の共同体である。
- ④ 対なる男女は、それぞれが独立した個人でありながら、また一つの共同存在でもある。その共同体は、不信や裏切りという個の背反の可能性を孕^{はら}みながら、個がそうした己を否定して自他の合一を目指すところに成立する。

問 8 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 近世において男女の恋は、近松門左衛門の心中劇に見られるように、人を破滅や死へと向かわせる激しく危険な情熱であるとされ、その積極的意義が認められるには近代を待たなければならなかった。
- ② 近代以降、恋愛は自我の自由や独立との関わりにおいて見いだされたが、それはまたエゴイズムの自覚や、自我と社会との葛藤という、近世以前には見られなかった新たな問題を生み出すこととなった。
- ③ 近世において男女の恋は、情愛に基づく夫婦和合が人倫的秩序の基底であるとして、国学によって初めてその積極的価値を認められたが、近代に入ると、それは専ら個人の情念の観点から捉えられた。
- ④ 近代以降、恋愛は自我の自由や独立との関わりにおいて見いだされたが、近世以前の仏教や国学においては、それは専ら邪な情欲に基づく非道徳的なものであるとされ、禁忌や抑圧の対象とされていた。

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 25)

㉑「男は仕事、女は家事・育児」というような社会的役割の配分のあり方は、性別役割分担と呼ばれる。しかし20世紀の最後の四半世紀からは、㉒それが性による差別や抑圧をもたらすものになっているという認識から、その是正を強く求める議論が高まってきている。このことが意味する問題を考えてみよう。

近代以降において、何らかの社会的役割の配分は、かつてのように血筋、家柄、㉓肌の色などによって固定的に行われるのではなしに、個人の資質、能力、希望などによって行われるようになった。このことは、他の国々と同様に日本においても認めることができる。例えば血筋や家柄によって固定されていた士農工商という江戸時代の社会的役割の配分は、明治政府によって基本的に否定された。当時そうした変化を肯定的に捉えた福沢諭吉は、「28は親の敵で御座る」と述べ、血筋や家柄によってではなく、教育を通じて個人が獲得する知識や能力によって社会的役割が配分されるべきことを強く主張した。

ところが、㉔性別による固定的な役割分担に関してだけは、近年に至るまで自明な秩序のように考えられていた。なぜなのだろうか。それは、男女という区別については、血筋や人種の区別にもまして自然的な差異が明らかだと見なされ、機能や適性や能力におけるそうした差異に基づいて社会的な役割がおのずから決まっているのだ、と考えられていたからである。個人は、男として生まれるか、女として生まれるかによって、別々の㉕理想像を与えられ、別々の内容をもった倫理に従って生きることが期待されてきたのである。また、「女は管理職に向かない」とか「男はがさつで乱暴である」というような多くの㉖ステレオタイプが作り出され男女双方によって受容されていたのである。

しかし、妊娠・出産という身体機能において男女の自然的な差異が明らかであるとしても、㉗それをどのように評価し処遇するか、さらには、様々な役割をどのように配分していくかは、自然的に決まっていることではなく、文化的・社会的に決められていく事柄である。そのような視点からすれば、性別役割分担の前提と考えられてきた「男らしさ」と「女らしさ」についても問い直される必要があるだろう。

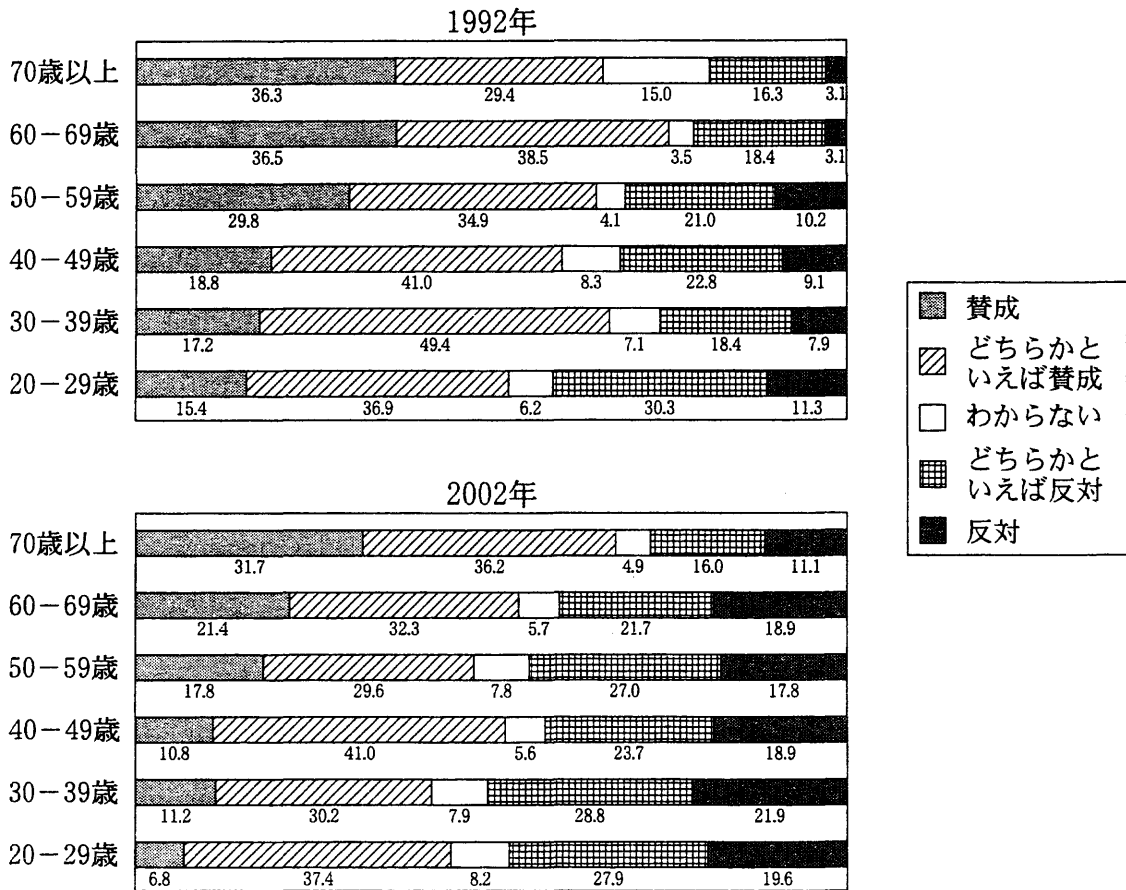
問 1 文章中の 28 に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ① 貴賤尊卑 | ② 伝統墨守 | ③ 藩閥専制 |
| ④ 門閥制度 | ⑤ 家督相続 | ⑥ 東洋道徳 |

倫理

問 2 下線部②に関連して、次の二つのグラフは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての世論調査における男性の回答結果を示すものである。そこから読み取れることとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 29

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての男性の年齢階級別賛否割合の推移



総理府『男女平等に関する世論調査』1992年、内閣府『男女共同参画社会に関する世論調査』2002年により作成。

- ① この考え方に否定的な人の割合は、概ね^{おおむ}どの年齢階級でも半数以下であるが、この10年間でどの時代に生まれた人々も性別役割分担意識を薄めていく傾向が見られる。
- ② 2002年時点において50歳代より若い人々では、この10年間に性別役割分担意識が薄れてきているが、60歳以上の人々ではほとんど変化が見られない。
- ③ より古い時代に育った人々のほうが概して性別役割分担を支持しがちであり、さらにどの時代に生まれた人々も年をとるにつれて、それを支持するようになる傾向が見られる。
- ④ どの時代に生まれた人々も年をとるにつれて、性別役割分担を支持するようになるので、この10年間に年齢別の意見分布に大きな変化は見られない。

倫 理

問 3 下線部㉑の例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 分業は社会的効率を高める方法であり、効率重視の現代社会では、性別による分業も効率性の観点から再編成すべきである。
- ② 個人の選択の余地なく与えられる性別役割は、しばしば個人の人生の可能性に対する重大な侵害になるので解消すべきである。
- ③ これまで男性優位に作られていた性別役割分担を、女性優位のあり方へと積極的に転換すべきである。
- ④ 自然的適性が明確である子育てなどの少数の事例以外、ただ偏見に基づく多くの性別役割分担を撤廃すべきである。

問 4 下線部㉒に言及した次の文章は、ある演説の一部である。その演説を行った人物を、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

わたしには夢がある。それは、いつの日か、わたしの四人の小さな子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に生きられるようになることだ。

わたしには夢がある！

- ① ガンディー ② 孫 文 ③ シュヴァイツァー
- ④ マザー＝テレサ ⑤ キング牧師 ⑥ 毛沢東

問 5 下線部①に関連して、20世紀フランスの実存主義の哲学者であるシモーヌ・ド・ボーヴォワールの考えを示す記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 歴史の始まりにおいて女性は太陽のような存在であった。本物の人間であった。ところが、今、女性は月のような存在である。他人に依存して生き、他からの光によって輝く、病人のごとき青白い顔をした月のような存在である。
- ② 男性は、対外関係においてたくましく活躍するもの、女性は、受動的で主観的なものである。だから、夫は、自分の現実の実体的生活を、国家や学問などにおいて、外界や自分自身との労苦に満ちた^{かか}関わり合いや戦いにおいて営む。
- ③ 男性に好かれ、男性の役に立ち、男性から愛され敬われ、幼い時は育て、大きくなれば配慮を尽くし、助言し、慰め、その生を快い甘美なものにすること、それこそ、いついかなる時にも女性の義務であり、女性に子どもの時から教えるべきことなのである。
- ④ 人間の集団にあっては、何ものも自然のままではない。とりわけ女は、文明がつくりあげたものである。最初から女の運命には他人が介在している。この介在が他の方向でなされていれば、まったく別の結果になっていることだろう。

倫理

問 6 下線部㉔に関連して、理想が実現できないときに葛藤^{かつとう}や不満が生じる。それらから心を守ろうとする無意識的な働きとして防衛機制というものがある。そのうち、合理化と昇華の例として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。合理化については に、昇華については に答えよ。

- ① 留学することをあきらめたAさんは、「グローバル化が進んでいるので、留学なんてどんどん意味がなくなってくるよ」と言っている。
- ② 自分に対する先輩からの扱いを不満に感じているBさんは、厳しく後輩を指導する同級生を見て強い怒りを感じる。
- ③ 人から批判されるのではないかとびくびくしているCさんは、いつも大きな声で攻撃的なしゃべり方をしている。
- ④ 就職活動がうまくいっていない大学生のDさんは、3～4歳のころに大好きだった絵本を繰り返して眺めている。
- ⑤ 小さいころに深刻ないじめにあっていたEさんは、しかし現在そのことをまったく覚えていない。
- ⑥ 失恋した高校生のFさんは、広く社会に関心を向けて、ボランティア活動に打ち込んだ。

問 7 下線部㉕に関連して、ステレオタイプについての説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ある集団についてのステレオタイプは、いったん作り出されると、メディアなどを通じてひとり歩きすることが多い。
- ② ある集団に対して投影されたステレオタイプは、投影する側が心理的に自らのうちにもつ否定的なイメージであることが少なくない。
- ③ ある集団についての型にはまったイメージでも、まったく根拠のない恣意的な蔑^{べつしよう}称や呼称などはステレオタイプからは除外される。
- ④ ある集団の「われわれ」意識が形成される過程で、ステレオタイプが他者との差異を強調するために使われることもある。

問 8 下線部㉔に関連して、現在の日本においても男女の差異の処遇に関して制度的に様々な規定がある。それについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 民法の規定によれば、親の同意のもとに結婚が可能とされる年齢の下限は、男女共に18歳である。
- ② 日本の各種議会の議員の数については、両性の比率の格差が2：1を超えないように定められている。
- ③ 男女雇用機会均等法は、雇用における両性の平等な処遇を規定し、実効性のあるように罰則を設けている。
- ④ 育児・介護休業法は、家庭責任を担う役割を男女両方に認め、男性にも女性にも休暇取得の権利を認めている。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>